

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信 託 期 間	約 4 年 8 カ月間（2014年 4 月30日～2018年12月18日）	
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	当 ファ ン ド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「トライアングルⅡ ファンドーワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド」（以下「ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドの受益証券への投資を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。 ②当ファンドは、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組 入 制 限	当 ファ ン ド の 投資信託証券組入上限比率	無制限
	マ ザ ー フ ァ ン ド の 株 式 組 入 上 限 比 率	純資産総額の10%以下
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

世界ハイブリッド証券ファンド
2014-04
(為替ヘッジあり／限定追加型)

運用報告書(全体版)
第 7 期
(決算日 2017年12月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界ハイブリッド証券ファンド 2014-04（為替ヘッジあり／限定追加型）」は、このたび、第7期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

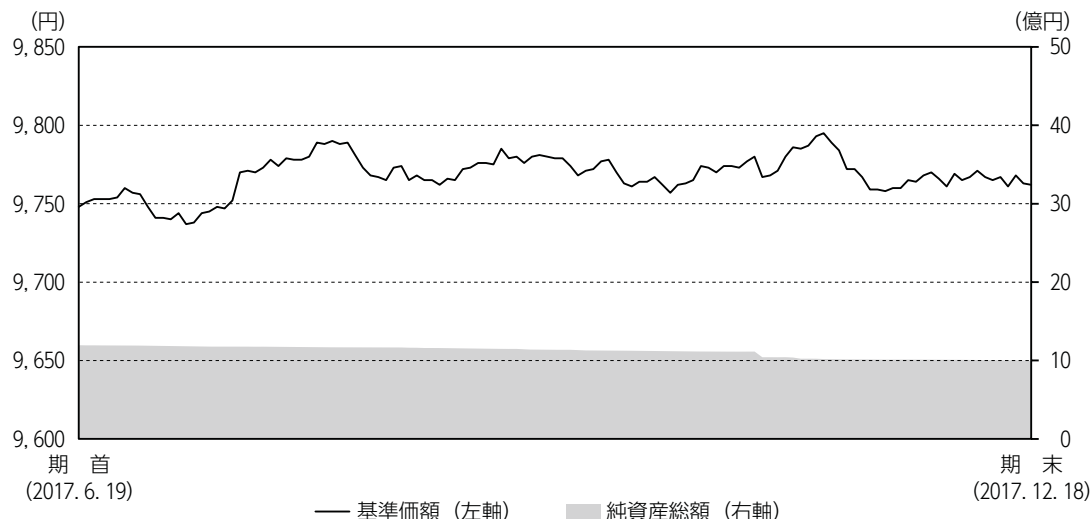
決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
3 期 末 (2015年12月18日)	円 9,835	円 120	% △ 0.2	% 0.0	% 99.4	百万円 2,737
4 期 末 (2016年 6 月20日)	9,733	120	0.2	0.0	99.5	2,619
5 期 末 (2016年12月19日)	9,586	80	△ 0.7	0.0	99.5	1,382
6 期 末 (2017年 6 月19日)	9,748	60	2.3	0.0	99.4	1,195
7 期 末 (2017年12月18日)	9,722	40	0.1	—	99.0	996

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期 首：9,748円

期 末：9,722円（分配金40円）

騰落率：0.1%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

「トライアングルⅡ ファンドーワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド（以下「ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド」といいます。）」の受益証券への投資を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含む。）が発行するハイブリッド証券等に投資した結果、利息収入および債券価格の上昇がプラスに寄与した一方、為替ヘッジに係るコストなどがマイナス要因となり、基準価額は横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界ハイブリッド証券ファンド2014-04 (為替ヘッジあり／限定追加型)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2017年 6 月19日	9,748	—	0.0	99.4
6 月末	9,748	0.0	0.0	99.6
7 月末	9,778	0.3	0.0	99.5
8 月末	9,773	0.3	—	98.9
9 月末	9,763	0.2	—	99.4
10月末	9,780	0.3	—	99.1
11月末	9,766	0.2	—	99.3
(期 末) 2017年12月18日	9,762	0.1	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 6. 20 ~ 2017. 12. 18)

■ハイブリッド証券市況

ハイブリッド証券市場は上昇しました。

ドラギ E C B（欧州中央銀行）総裁がデフレの脅威は過ぎ去ったとの見解を示したことや、英国およびカナダの金融当局者からの利上げの可能性を示唆する発言を受けて欧米金利が上昇したことで、期首から2017年7月上旬にかけて、ハイブリッド証券市場は下落する展開で始まりました。しかし、欧米の金利上昇が一服すると市場は上昇に転じました。朝鮮半島情勢の緊迫化などから上値が重くなる場面もありましたが、10月下旬までおおむね堅調に推移しました。11月に入ると、米国における税制改革の先行き不透明感などからいったん下落しましたが、期末にかけて、好調な欧米の経済指標や原油高、出足好調な年末商戦などを背景に株価が上昇する中、ハイブリッド証券市場は再び底堅い展開となりました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

主として、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドへの投資割合を高位に保つことによって、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券からの収益を享受することをめざします。

■ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド

米国の金融政策に関しては、短期的には新政権の景気刺激策の不確実性、長期的には構造的に潜在成長率や中立金利が低下している点等を考慮し、F R B（米国連邦準備制度理事会）は今後の政策金利の変更については、過度な引き締めにならないよう慎重に行なうものと考えられます。一方、欧州については、E C Bの積極的な金融緩和策や資源国経済の底入れなどを背景に、企業・家計部門ともに回復傾向が持続しております。年後半に向けてE C Bによる資産買い入れ規模のさらなる縮小に関する議論が活発化することも予想されますが、ユーロ圏内の景況感格差や、英国のE U離脱をめぐる交渉の行方等に配慮し、E C Bの金融緩和策の継続姿勢は維持されるものと思われる。

米国の政治混乱の長期化、世界的な保護主義台頭の機運、地政学リスクの高まりなど、市場を取り巻く環境は複雑化しておりますが、大枠としてはグローバルな低金利・低成長という市場環境が

相応の期間継続するとの見方に変わりはありません。また、市場規模の縮小継続による希少性から需給面での下支えも期待できることから、ハイブリッド証券市場は中期的に底堅い展開が予想されます。

このような環境の中、現状の組入銘柄の保有を基本に、相対価値比較から一部銘柄の入れ替え等も考慮に入れ、ファンドの信託期間における利回りの向上を図る方針です。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。

ポートフォリオについて

(2017. 6. 20 ~ 2017. 12. 18)

■当ファンド

当ファンドは、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド

当ファンドは、世界を代表する金融機関が発行するハイブリッド証券を対象に、デフォルト（債務不履行）リスクおよび繰上償還（コール）延期リスクを避けて高いリターンが見込まれる証券への投資を行ないました。ファンドの解約に際しては、ポートフォリオ特性をおおむね維持するよう、慎重に組入証券の売却を行ないました。また、一部銘柄の入れ替えを行ない、利回りの向上を図りました。加えて、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行ないました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は40円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2017年6月20日 ～2017年12月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	40
対基準価額比率	（％）	0.41
当期の収益	（円）	40
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	507

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	149.02円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00
(c) 収益調整金	0.32
(d) 分配準備積立金	398.23
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	547.57
(f) 分配金	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	507.57

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

主として、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドへの投資割合を高位に保つことによって、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券からの収益を享受することをめざします。

■ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド

米国トランプ大統領周辺とロシアとの不透明な関係をめぐる疑惑が再燃するなど、依然として米国の政権運営の先行き不透明感が払しょくされる状況にない中、ドイツをはじめとした欧州の政治不安、また北朝鮮や中東情勢などの地政学リスクが市場の重しとなることが予想されます。しかし、大枠としてグローバルな低金利・低成長という市場環境が相応の期間継続するとの見方に変わりはありません。

今後の運用については、個別証券の諸条件および市場の動向にはより注視してまいります。基本的には現状の組入銘柄を中心に、相対価値比較から一部銘柄の入れ替え等も考慮に入れ、ファンドの信託期間における利回りの向上を図る方針です。また、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行ないます。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 6. 20～2017. 12. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	51円	0. 525%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 768円です。
（投 信 会 社）	(24)	(0. 242)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販 売 会 社）	(26)	(0. 269)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	52	0. 529	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注 3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2017年6月20日から2017年12月18日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	230.878	21,295	2,242.622	210,500

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年6月20日から2017年12月18日まで)

当 期				期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				TII FUND-WORLD FINANCIAL CAPITAL SECURITIES FUND (ケイマン諸島)	2,242.622	210,500	93

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける
期中の利害関係人との取引状況

(2017年6月20日から2017年12月18日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	590	80	13.6	—	—	—
コール・ローン	1,889,672	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビーフ
ンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支
払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支
払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される
利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券で
す。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) TH FUND-WORLD FINANCIAL CAPITAL SECURITIES FUND	10,694.424	985,822	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	0	0	0

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年12月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	985,822	97.9
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	21,369	2.1
投資信託財産総額	1,007,193	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,007,193,555円
コール・ローン等	21,369,778
投資信託受益証券（評価額）	985,822,778
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（評価額）	999
(B) 負債	10,949,890
未払収益分配金	4,098,800
未払解約金	953,180
未払信託報酬	5,852,970
その他未払費用	44,940
(C) 純資産総額（A－B）	996,243,665
元本	1,024,700,146
次期繰越損益金	△ 28,456,481
(D) 受益権総口数	1,024,700,146口
1万口当り基準価額（C／D）	9,722円

* 期首における元本額は1,226,222,549円、当期中における追加設定元本額は221,959円、同解約元本額は201,744,362円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,722円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は28,456,481円です。

■損益の状況

当期 自2017年6月20日 至2017年12月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	21,168,012円
受取配当金	21,171,124
受取利息	275
支払利息	△ 3,387
(B) 有価証券売買損益	△ 13,765,917
売買益	1,108,227
売買損	△ 14,874,144
(C) 信託報酬等	△ 5,897,910
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	1,504,185
(E) 前期繰越損益金	△ 27,504,759
(F) 追加信託差損益金	1,642,893
（配当等相当額）	(32,973)
（売買損益相当額）	(1,609,920)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 24,357,681
(H) 収益分配金	△ 4,098,800
次期繰越損益金（G＋H）	△ 28,456,481
追加信託差損益金	1,642,893
（配当等相当額）	(32,973)
（売買損益相当額）	(1,609,920)
分配準備積立金	51,978,120
繰越損益金	△ 82,077,494

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は11ページの「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	15, 270, 102円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	32, 973
(d) 分配準備積立金	40, 806, 818
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	56, 109, 893
(f) 分配金	4, 098, 800
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	52, 011, 093
(h) 受益権総口数	1, 024, 700, 146口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	40円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、12月18日現在の基準価額（1万口当り9,722円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

**トライアングルⅡ ファンドーワールド フィナンシャル キャピタル
セキュリティーズ ファンド**

当ファンド（世界ハイブリッド証券ファンド2014-04（為替ヘッジあり／限定追加型））の主要投資対象であるケイマン籍の外国投資信託「トライアングルⅡ ファンドーワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2017年12月18日で入手しうる直近の決算期分を掲載しております。

貸借対照表

2016年12月31日現在

（日本円）

資産

現金及び現金同等物	113, 260, 095
未収利息	99, 706, 315
金融資産（損益通算後の評価額）	4, 480, 994, 700

資産合計

4, 693, 961, 110

負債

金融負債（損益通算後の評価額）	224, 037, 907
未払解約金	9, 000, 000
未払費用	8, 117, 523

負債合計

241, 155, 430

資本

資本金	4, 857, 193, 467
繰越損失	(404, 387, 787)

資本合計

4, 452, 805, 680

負債及び資本合計

4, 693, 961, 110

損益計算書

2016年12月31日に終了した年度

収益

受取利息	319, 396, 942
金融資産及び負債の純実現益 （損益通算後の評価額）	357, 984, 567
金融資産及び負債の未実現損の純変動額 （損益通算後の評価額）	(650, 500, 671)
為替差益	58, 543, 764
収益合計	85, 424, 602

費用

運用報酬	22, 955, 612
保管費用	1, 862, 479
管理費用	8, 647, 931
書換代理人費用	1, 779, 991
監査費用	2, 300, 562
弁護士費用	82, 275
その他専門家費用	228, 888
サービスフィー	22, 759
費用合計	37, 880, 497

当期利益

47, 544, 105

組入明細

通貨	銘柄名	利率（％）	次回コール日	評価額 (現地通貨)
EUR	BARCLAYS BANK PLC	4.7500	2020/3/15	1,212,184.66
EUR	BNP PARIBAS	5.0190	2017/4/13	2,921,747.61
EUR	BNP PARIBAS	7.7810	2018/7/2	620,245.58
EUR	BPCE SA	6.1170	2017/10/30	2,096,009.86
EUR	CREDIT AGRICOLE SA	8.2000	2018/3/31	856,092.12
EUR	ELM BV (SWISS LIFE)	5.8490	2017/4/12	2,938,136.89
EUR	NATIXIS	6.3070	2017/10/18	105,151.40
EUR	SOCIETE GENERALE	6.9990	2017/12/19	525,640.64
EUR	UBS AG JERSEY BRANCH	7.1520	2017/12/21	2,508,869.87
GBP	AMERICAN INTL GROUP	5.7500	2017/3/15	610,852.21
GBP	AVIVA PLC	6.1250	2022/9/29	1,045,738.36
GBP	DANSKE BANK A/S	5.3750	2018/9/29	956,410.15
GBP	DNB BANK ASA	6.0116	2017/3/29	1,701,299.99
GBP	HBOS CAPITAL FUNDING LP	6.4610	2018/11/30	1,052,510.41
GBP	MUFG CAPITAL FIN 5 LTD	6.2990	2017/1/25	1,647,627.04
GBP	RABOBANK CAP FD TR IV	5.5560	2019/12/31	549,574.10
USD	ALLIANZ SE	5.5000	2018/9/26	2,245,452.21
USD	BPCE SA	12.5000	2019/9/30	1,064,255.74
USD	CREDIT AGRICOLE SA	8.3750	2019/10/13	2,231,203.96
USD	CREDIT AGRICOLE SA	6.6370	2017/5/31	661,306.99
USD	CREDIT SUISSE GUERNSEY	5.8600	2017/5/15	3,153,341.45
USD	SMFG PREF CAP USD 3	9.5000	2018/7/25	2,353,235.55
USD	SOCIETE GENERALE	5.9220	2017/4/5	3,116,883.53
USD	STANDARD CHARTERED PLC	6.4090	2027/1/30	474,998.84

通貨の略称：

USD － 米ドル
 EUR － ユーロ
 GBP － 英ポンド

世界ハイブリッド証券ファンド2014-04（為替ヘッジあり／限定追加型）

外国為替先渡契約					
売却通貨	売却通貨金額	購入通貨	購入通貨金額	決済日	評価額 (日本円)
日本円	81,966,657	ユーロ	687,000	2017年1月30日	2,536,924
日本円	48,227,781	ユーロ	393,000	2017年1月30日	112,695
米ドル	16,888,000	日本円	1,863,464,140	2017年1月30日	(103,345,138)
ユーロ	14,700,000	日本円	1,731,968,700	2017年1月30日	(76,186,523)
英ポンド	7,524,000	日本円	1,039,019,256	2017年1月30日	(44,506,246)
日本円	161,508,120	米ドル	1,432,000	2017年1月30日	5,265,381
日本円	22,620,328	米ドル	197,000	2017年1月30日	322,675
日本円	10,582,390	米ドル	91,000	2017年1月30日	15,647
合計					(215,784,585)

<補足情報>

当ファンド（世界ハイブリッド証券ファンド2014-04（為替ヘッジあり／限定追加型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2017年12月18日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を16ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2017年 6 月20日から2017年12月18日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
679 国庫短期証券 2017/7/31	350,003		
707 国庫短期証券 2017/12/11	70,000		
673 国庫短期証券 2017/7/3	50,000		
355 2年国債 0.1% 2017/8/15	40,002		
676 国庫短期証券 2017/7/18	30,000		
675 国庫短期証券 2017/7/10	30,000		
680 国庫短期証券 2017/8/7	10,000		
682 国庫短期証券 2017/8/14	10,000		

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2017年12月18日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第6期（決算日 2017年12月11日）

（計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
運 用 方 法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

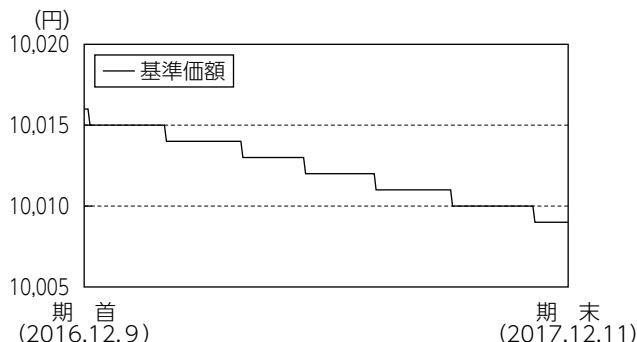
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2016年12月 9 日	円 10,016	% -	% 28.2
12月末	10,015	△0.0	-
2017年 1 月末	10,015	△0.0	31.1
2 月末	10,014	△0.0	25.3
3 月末	10,014	△0.0	-
4 月末	10,013	△0.0	35.3
5 月末	10,012	△0.0	5.1
6 月末	10,012	△0.0	0.6
7 月末	10,011	△0.0	0.1
8 月末	10,011	△0.0	-
9 月末	10,010	△0.1	-
10月末	10,010	△0.1	-
11月末	10,009	△0.1	-
(期末)2017年12月11日	10,009	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,016円 期末：10,009円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 33,310,870	千円 - (36,270,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	4,280,100		
669 国庫短期証券 2017/6/12	3,020,099		
657 国庫短期証券 2017/4/17	2,860,055		
659 国庫短期証券 2017/4/24	2,650,077		
652 国庫短期証券 2017/3/27	2,530,020		
642 国庫短期証券 2017/2/6	2,410,036		
644 国庫短期証券 2017/5/12	2,070,088		
651 国庫短期証券 2017/3/21	1,970,049		
660 国庫短期証券 2017/5/1	1,450,027		
638 国庫短期証券 2017/1/16	1,270,010		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	17,415,714	100.0
投資信託財産総額	17,415,714	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	17,415,714,754円
コール・ローン等	17,415,714,754
(B) 負債	－
(C) 純資産総額(A－B)	17,415,714,754
元本	17,399,953,390
次期繰越損益金	15,761,364
(D) 受益権総口数	17,399,953,390口
1万口当り基準価額(C／D)	10,009円

* 期首における元本額は10,476,400,958円、当期中における追加設定元本額は9,625,428,641円、同解約元本額は2,701,876,209円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり) 999円、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし) 999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(毎月分配型) 219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(年2回決算型) 24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(毎月分配型) 848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(年2回決算型) 66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジあり) 6,592,748円、ダイワDBモメンタム戦略ファンド(為替ヘッジなし) 10,288,683円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型) 4,995円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型) 4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－04(為替ヘッジあり／限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－07(為替ヘッジあり／限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014－10(為替ヘッジあり／限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015－01(為替ヘッジあり／限定追加型) 999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型)－スーパー・ハインカム－α50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型)－スーパー・ハインカム－α100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ32,460,107円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 3－858,588,190円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 6－3,325,620,751円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 7－828,595,357円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 4－3,326,673,327円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト12 Ver 2－549,443,563円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド－シフト11 Ver 5－2,095,808,384円、ダイワ円債セレクト マネーコース808,108,471円、ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型) 2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 為替ヘッジなしコース5,990,216円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 日本円コース1,397,544円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース3,994,008円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型) 通貨セレクトコース1,597,623円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型) 為替ヘッジなし100,789円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(毎月分配型) 1,235円、ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(毎

月分配型) 1,598円、通貨選択型 ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース(毎月分配型) 1,544円、通貨選択型 ダイワ／NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース(毎月分配型) 1,984円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型)－シフト11－3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型)－シフト12－679,321,043円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型)－シフト13－1,287,713,056円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,009円です。

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 8,299,426円
受取利息	△ 922,829
支払利息	△ 7,376,597
(B) 有価証券売買損益	△ 2,491
売買損	△ 2,491
(C) その他費用	△ 174,287
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 8,476,204
(E) 前期繰越損益金	16,325,703
(F) 解約差損益金	△ 3,147,995
(G) 追加信託差損益金	11,059,860
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	15,761,364
次期繰越損益金(H)	15,761,364

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。